

2018～2019 年度



THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA NORTH

越谷北ロータリークラブ

例会日:毎週水曜日 12:30～13:30

例会場:越谷市千間台東インペリアルビル 4 階

T E L 048(975)9898

F A X 048(977)3741

創 立:1976 年 5 月 11 日

会 長 : 吉澤 晴雄

副 会 長 : 宮崎 敏博

幹 事 : 中澤 伸浩

会報委員長 : 近藤 慎悟

第 2062 回 例会記録 No. 5

平成 30 年 8 月 8 日

司会: 渡辺 裕介 編集: 吉田 実

会次第

1. 点鐘
2. ロータリーソング「奉仕の理想」
3. 四つのテスト 職業奉仕委員会
4. 結婚・誕生日祝い
5. お客様紹介
米山記念奨学生 邵 丹陽(ショウタンヨウ) 様
6. 会長卓話
7. 幹事報告
8. 米山記念奨学金の贈呈
9. お見舞い 太田 靖彦 会員
関森 初義 会員
10. 葬儀お礼 小林 操 ガバナーエレクト
11. 3分間会員スピーチ 橋本 哲寿 会員
12. 委員会報告
13. スマイル報告
14. 部門セミナー報告
15. 出席報告

次回例会案内 平成 30 年 8 月 29 日

雑誌記事紹介

ロータリアンの行動規範

事業所紹介

会員増強フォーラム

会長卓話



吉澤 晴雄 会長

皆様こんにちは。第 10 回越谷ジュニア甲子園野球大会も皆様のご協力をいただきまして、盛大に開催することができました。ありがとうございます。

二松学舎高校と叡明高校のエキシビジョンが中止となったのは残念ですが、是非とも二松学舎高校野球部には、甲子園で優勝を目指して頑張ってもらいたいです。12 日に広島広陵高校に勝てば、8 月 16 日に浦和学院と仙台育英の勝者と対戦することとなります。2013 年の夏の大会で、浦和学院の春夏連覇を仙台育英がサヨナラで止めたという、劇的な試合がありました。この試合も因縁の対決となりますので、注目していただきたいと思います。このままだと野球の話で 1 時間は時間が過ぎてしまいそうですので、軌道修正して、本日は少しロータリーに関する話を致します。今月は会員増強月間です。本日はバリー・ラシン RI 会長の会員増強に関するメッセージをご紹介します。



幹事報告



中澤 伸浩 幹事

(8月1日第2回理事役員会より)

- ・第2回理事役員会ですが、クリスマス例会会場の下見を兼ね東武ホテルレバント東京にて開催しました。
- ・9月度プログラムが承認されました。9/5 例会プログラムに浅野目会員のイニシエーションスピーチ他、米山記念奨学生ショウちゃんによる卓話が入りました。
- ・例会場のロールカーテンを設置する件が承認されました。
- ・中川ガバナーが地区目標として掲げているマイロータリーへの100%登録を実現すべく、IT推進委員として会報委員長でもある近藤会員が選任されました。
- ・次回第3回理事役員会は、9/5 例会終了後に開催します。

(クラブより)

- ・9/7 開催の RLI パート I について、江口さん、高さん、市川さん、酒井さん、山本さん、深野さん、伊藤さんの7名から参加表明を頂き、地区に申込を致しました。当日の研鑽をお願いいたします。
- ・9/22 開催の1000日会員の集いに、新沼さん、近藤さん、橋本さん、吉田さんの4名から参加表明を頂き、地区に申込みを致しました。名刺をたくさんお持ち下さいとのことですので、100枚くらい名刺をご持参頂ければと思います。
- ・10/15 開催の地区大会記念ポリオ撲滅チャリティーゴルフに、宮崎さん、大熊さん、大濱さん、新沼さんの4名に参加頂くことになりました。ご活躍を期待して

します。マザーテレサは、「世界を変えたければ、家に帰って家族を愛しなさい」と言いました。なぜなら、世界を変えることは、自分を変えること、そこから外に向かって活動していくことから始まるのです。私たちがロータリーにいるのは、地元や世界で行動を起こすためです。しかし、世界を変えるためには、まず足元から固める必要があります。ロータリーで必要な変化を取り入れ、今後も末永く活気にあふれ、時代に即した組織であり続ける必要があります。地域で充実した奉仕を行うには、年齢、性別、民族、背景が違う会員が集まり、真に地域社会を代表することが大切です。ロータリーを知らない人たちや、ロータリー会員となるのが何を意味するかを知らない人たちに、働きかけていきましょう。これを効果的に行うには、ロータリーの公共イメージの強化が必要です。その方法として、ソーシャルメディアや無料で地元の人たちが参加できる、ロータリーデーを開催して、ロータリーの活動を知ってもらおう事です。地元の人たちに、私たちが「世界を変える行動人」であることを認知して頂きましょう。また、ローターアクトとロータリーの距離を縮める必要があります。今日1万のクラブに25万人のローターアクターがいます。ロータリークラブの27%がローターアクトクラブを提唱しています。私はこの数字を倍増させ、特に地域社会を基盤とする新しいローターアクトクラブを作りたいと考えています。また、ローターアクトからロータリーへの移行をスムーズにし、ロータリーが若い力や多様性、新しいアイデアを取り入れることが大切です。ローターアクトと一緒に奉仕、プロジェクトを実施します。まだ、提唱していない場合には、新しいクラブを提唱してください。ローターアクトをインターンではなく若い仲間として見なし、私たちがロータリーからもらった沢山の「インスピレーションになる」ためにロータリーが与えてくれたことを紹介してあげてください。会員増強維持委員会だけではなく、会員全員で、会員増強に取り組んでいきましょう。それでは、本日も宜しくお願ひ致します。



います。

(地区より)

- ・毎月月初の例会にて、ガバナーチャンネル、これはガバナー月信ガバナー卓話の動画なのですが、これを配信して頂きたいとの案内が届いておりますので毎月月初の例会の例会開始前の時間に、ガバナーチャンネルをモニターで放映させて頂くこととしました。
- ・ロータリーオンラインショップのご案内が届いております。
- ・公益財団法人埼玉県腎・アイバンクへの人道支援：献眼登録、賛助会員への奉仕依頼が届いております。

結婚・誕生日祝い



太田 靖彦 会員・岡崎 勲 会員
須賀 篤史 会員

おめでとうございます！

お客様挨拶



米山記念奨学生 邵 丹陽 様

皆様こんにちは。米山奨学生の邵 丹陽(ショウ タ

ンヨウ) です。どうぞよろしくお願いいたします。今日はゆっくりお話をさせていただきたいと思います。お話しいたことは、主に 3 点あります。1 点目は、今日 5 回目の奨学金をいただきました。今日の分を含めて 70 万円をいただきました。この 70 万円で、ちょうど文教大学の修士課程、1 年間の学費を支払うことができます。その前はずっと、親からの送金で学費を払っていたり、なんとか生活もできていました。でも今は、奨学金をいただいているので、親に負担をかけずにいられます。今は皆さんのおかげで学費も払え、生活もできています。本当にありがとうございます。2 点目は、先週の越谷ジュニア甲子園の野球の試合なのですが、恥ずかしながら私は一度も出席できなくて、本当にすみませんでした。3 点目は、私は、例えばクラブの人々と個人的に話した時には(日本語が)そんなに下手ではないと思うのですが、皆さんの前で話すのは本当に苦手です。なぜかと言うと、会長さんはじめクラブの皆さんが本当に優しくて、私の挨拶がそんなに上手じゃなくても奨学金をいただけているので、私もいつも圧力、プレッシャーもなく挨拶をしています。だから、これからは皆さんに親のような気持ちで厳しくしていただけると、私の挨拶も上手になるかもしれないので、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

お見舞い



太田 靖彦 会員・関森 初義 会員

おかえりなさい！

葬儀お礼



小林 操 ガバナーエレクト

こんにちは。先日母の葬儀に皆さんお手伝い、またご会葬いただき、本当にありがとうございました。おかげ様で滞りなく終わりました。私はロータリーを頑張らなくてはいけないと改めて決意をした次第でございます。本当にありがとうございました。

3 分間スピーチ



橋本 哲寿 会員

皆様こんにちは。ただ今 3 分間お時間をいただきました。仕事は介護関係で、越谷市の介護に関する総合商社ということで、何でもご相談いただければと思っておりますが、本日は、仕事とは別のお話をさせていただきます。日本は、原爆が投下されて 73 年。先日 6 日の日に広島、そして 9 日には長崎に投下をされたわけでございます。私の息子がちょうど広島の方の式典に越谷市の平和事業の一環で、各中学校から 1 名ずつということで参加させていただきました。

改めてこの平和の尊さというものを痛感し、本日のロータリーソング『奉仕の理想』の中の一説にございます、「望むは世界の久遠の平和」というそのフレーズを、普段よりも重く受け止めて歌わせていただいたところでございます。関連して防犯ですとか、防災ですとか、そういったことで少しお話をしたいなと思います。この 4 月に自転車の保険への加入が埼玉県で義務化されました。自転車屋さんで加入をすると、年間 8,000 円から 9,000 円取られるそうですけれども、皆様が入られている自動車保険、あるいは火災保険の特約として入る場合には、一月 130 円くらいの額で入れるそうですので、是非皆様ご検討いただければと思います。また、自転車の道路の整備という部分に関しては、このところ各地を歩いておりますと、自転車道が整備されているな、と目にすることがよくあります。

越谷市では、今第 4 次総合振興計画の後期基本計画に入っております、平成 32 年度までの計画の中で、1,000 万円の予算が組まれております。一番自転車が通行する通行量の多い場所ということで、レイクタウン除く市内 7 駅、13 路線の歩行者、自転車の通行量を調べたところ、せんげん台の東口が一番多いということで、まずはせんげん台駅から旧 4 号までの区間について、自転車道の整備を図っていこうということになっております。平成 32 年度までということですが、こういった保険の関係もございまして、なるべく前倒しでやっていただきたいということで、私も働きかけているところでございます。もう一点は、駅前道路についてももう少し明るくしてほしいという声がございますもので、越谷市では、市街化区域で 60 メートルに一箇所、調整区域は 90 メートルに一箇所、街路灯を設置する基準になっております。平成 32 年度までに、その基準の中で設置が完了する予定でございますけれども、その後はなるべく幹線道路を優先的に明るくしていただきたいと思いますということで、今東口についても調整を進めているところでございます。そんなところで、私の 3 分間のお話とさせていただきます。

委員会報告

出席・会場運営委員会 大島 直幸 副委員長

来週の例会ですが、8月15日はクラブ定款第6条第1節Cにより休会となりますので、次の例会は8月22日になります。

ロータリー財団委員会 大島 直幸 委員長

今月のロータリーレートは112円となっておりますので、皆様からのご寄付250ドルの場合、今月だと28,000円となります。既に今の段階で9名の方にご寄付をいただいておりますので、皆様ご寄付がまだの方、ロータリーレートを見ながらご都合のよろしい時に、財団へのご寄付をよろしくお願い致します。

公共イメージ部門 近藤 慎悟 副委員長

① ジュニア甲子園の様子

メールでご案内をさせていただきましたが、第10回越谷ジュニア甲子園野球大会の様子を、越谷北ロータリークラブHP、フェイスブックにて公開を行っています。今後も公共イメージ部門では、内外における発信を行ってまいりますので、よろしくお願い致します。

② プレスリリース 報告

この度、越谷ジュニア甲子園野球大会でプレスリリースを配信しました。プレスリリースの成果は、配信数518、記者閲覧数54、掲載媒体数60でした。初回配信の結果としては良好でした。

部門セミナー報告



公共イメージ部門 近藤 慎悟 副委員長

まずは全体の流れから説明します。会場は川口市民ホールフレンジア。12:45 から受付開始です。会

場に着くと10人掛けのテーブルが18グループ用意されていました。13:10から合同セミナーが開始、点鐘を行いました。点鐘後のプログラムと、その内容を説明します。中川ガバナーの挨拶では「公共イメージと会員増強はロータリー戦略計画、3つの戦略的目標のうちクラブのサポートと強化、公共イメージと認知度の強化を担当する部門で、クラブのサポートと強化では、現会員数の維持、女性会員や若い会員、ロータリーアクターを増やす事、公共イメージと認知度の向上では特に世界を変える行動人キャンペーンの推進を話されていました。また、会員の皆様が会員増強や公共イメージの必要性は認識していると理解した上で、どのように実践していくかということ、魅力あるクラブづくりのためにセミナーで真剣に考えていきたいと言われました」。公共イメージ部門担当の浅水諮問委員は「様々なメディアが増えていく中、SNSが無視できなくなってきた事、今回のセミナーでは情報発信の効果的な手段を、講演を通して考えていくことを話されました。セミナー講演講師がテレビ埼玉の専務取締役という事もあり、TVがロータリーに期待していることを学べる機会とおっしゃりました」。会員増強維持部門担当井橋諮問委員は「ロータリークラブがいかに関地域リーダーシップをとるかを話されました。地域から評価されるには、まずクラブが元気になること、地域社会を反映した多様な会員がいること、会員増強がクラブの維持・発展には重要課題だとおっしゃりました」。ロータリーの友については地区代表委員の恵川さんが以前北RCに訪問された際に話された内容をお話していました。その次に、部門委員長の挨拶です。公共イメージ部門の江原委員長は「ロータリーの認知度向上、ロータリーのイメージを持ってもらうために、本日の講演で、マスメディアから見たロータリー、ロータリアン、ロータリーの活動を通して公共イメージ向上の方法、メディアが取り上げたくるような情報をご教授頂き、今後の活動のインスピレーションに取り入れてほしい」と話されました。会員増強維持部門の梶間委員長は



「会員増強は今年度のモットーを達成するために必要で、それは会長、委員長のやる気の影響が大きいことを話されました。会員増強は今年度本当に力をいれており、梶間委員長が登場するときには会員増強のテーマソングが流れていました。その後は、13:50 から株式会社テレビ埼玉専務取締役の川原氏による「マスメディアから見たロータリー」基調講演が行われました。休憩をはさみ各テーブルに進行役・発表者・書記を決めて決められた 3 つのテーマについて 50 分間のセッションを行いました。テーブルごとに話し合ったセッションテーマを代表者が発表し、情報を共有します。最後に地区研修リーダーの田中徳兵衛氏による講評が行われました。一番印象に残った言葉は「会員増強は皆ががんばるのではない。1人1人ががんばるものだ」です。



会員増強維持部門 橋本 哲寿 副委員長

会員増強維持委員会 副委員長の橋本でございます。会員増強維持部門セミナーの報告をいたします。

セミナー当日、深野委員長及び私の出席が叶いませんでした。そこで、公共イメージ部門の近藤副委員長から頂いた資料と記録を拝見する方法で研修させていただきました。会員増強維持部門担当の井橋諮問委員から、クラブの維持・発展には地域社会を反映した多様な会員がいることや、会員増強が重要課題との話がありました。当クラブにおいても職業分類・会員選考委員会と連携を図り、当クラブも多様な職業の会員で構成できるようにしていくことが重要と感じました。

会員増強維持部門の梶間委員長からは、会員増

強は今年度のモットーを達成するために必要で、それには会長、委員長のやる気の影響が大きいと話されていたとのことです。今年度の入会者・紹介者にはガバナナーからバッジやネームタグがプレゼントされそうです。また、梶間委員長が登場する時には会員増強のテーマソングが流れていたとのことです。

セッションでは、3 つのテーマで議論がなされたそうです。1 つ目の講演の感想で印象的だったのは、会員増強は皆で頑張るのではなく、一人ひとりが頑張るものだという言葉でした。2 つ目のクラブパンフレットがあるかどうかでは、パンフレットがあるクラブは多いものの、有効に活用ができていないというクラブが大多数を占めました。これも目的が決められていない「誰に対して何のメッセージを発信しているのかわからなくなっている。ただ作っているだけ」ということが原因になっているようです。また、クラブ毎でパンフレットを作成するとクオリティが低くなるクラブもあるため、「地区でちゃんとしたパンフレットを作ってほしい」という要望がたくさん出ていたそうです。その他意見として「しっかり配布できていない」「使い方がわからない」「安っぽい」「あくまで会員増強の後方支援ツール。パンフレットありきではない」「クラブのパンフレットを見直す良い機会になった」などの意見があったとのことです。3 番目のテーマ『会員増強にはどのような工夫が必要か』では、非常にたくさんの意見や事例が発表され、増強の方法だけではなく、退会防止についても話されたとのことです。特に「女性が多いと良い」「新会員の居場所作り」「年会費が高い」などの意見が多かったとのことです。法人会員を入れると担当者が転勤になっても別の者が配属されるとの意見もあったようで、越谷市内の他のクラブでも銀行の支店長などを会員としているところもあるかと思えます。その他の意見として「一度退会した方に再度声をかける」「地域で目覚ましい人に卓話をしてもらおう」「女性が入ると男性も増える」「女性会員の年会費を半額にする」「ロータリーは入ったら辞められないというイメージをなくす」「親子・夫婦



に入会を勧める」「若手は昼の参加が困難。月 1 回は夜のお酒例会を行う」「JC 経験者を引き入れる」などがあったとのこと。また、退会防止については「入会 3 年間はクラブ全体でケアをする」「夜間例会も考える」「若い人は仕事を切り離せないという事をクラブで理解する」「女性会員が多いところは、例会時に全員と握手をしており、握手目的で出席率が向上している」「例会数を減らす」「雰囲気悪くする人、例えば自分の仕事の利益ばかりを優先する人やお金を渋るような人はあえて退会させる」「居場所を作ってあげることが大切」などの意見があったとのことですが、各クラブの成功例も、すべて真似すれば上手くいくというわけではなく、自分のクラブの状況で有効かどうかを判断することが必要とのことでした。

以上で報告とさせていただきますが、会員増強維持委員会としてもインスピレーションを大切に行動していきたいと思っております。ありがとうございました。



米山記念奨学委員会 川島 徹 委員長

皆様こんにちは。本日は7月22日にラプレさいたまで開催された米山記念奨学部門セミナーのご報告を致します。中川ガバナー、吉田部門委員長の挨拶に始まり、米山学友の徐 海波(ジョー カイハ)様による基調講演が行われました。その中でご自身の米山記念奨学生時代のお話や就職後のお話など様々なエピソードをお話下さりました。その後、米山記念奨学増進委員会の宗像英明委員長から、米山記念奨学事業についてのご説明がありました。まず、米山記念奨学事業の目的と使命に関して。その目的と使命は、将来

日本と世界を結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる優秀な留学生を支援する事です。ロータリーは“人づくり”の思想に基づき「どのように育てたか」を重視した活動となります。次に、採用する米山記念奨学生の優秀性に関してはこう説かれています。「学業・人物共に優秀である、ということだけではなく、将来国際社会で活躍する優秀な留学生を支援する事業ですので、採用する学生に対しては、学業の優秀性はもちろんですが、異文化に溶け込み異文化を理解する能力、およびコミュニケーション能力が求められます。」そこには、人としての思いやりや柔軟性が求められているように感じられました。また、事業の特徴等に関しまして、「日本最大の民間奨学事業(国内民間レベルでは110団体中最大)」であると言う事です。年間の採用数は850名程であり、2017年度は854名でした。奨学金・事業費に14億円が必要です。また、その奨学金に関しては返還の義務はなく、45歳未満であれば奨学金受給の資格が認められます。更に米山記念奨学事業の最大の特徴といえば、世話クラブ制度・カウンセラー制度がある事です。奨学生には必ずこの制度が適用されます。それにより、経済的な支援だけではなく精神的なケアが行われ、ロータリーとの深い交流に繋がり、ロータリーの活動理念の理解も深めてもらう事が可能となります。

さて、ここで皆様にご協力をお願いがございます。ご存知の通り日本全国34地区の米山記念奨学生の受入れ人数は、各地区の寄付実績に応じて割り当てられます。クラブ活性化の為一人でも多くの奨学生を採用できるよう、皆様のご理解とご協力をお願いしたいと思います。具体的な数字目標としては、会員一人当たり普通寄付と特別寄付の合計で25,000円以上となっております(※普通寄付:半期ごとに各クラブで決定した金額をご送金頂く寄付 ※特別寄付:任意で頂く寄付。個人寄付、法人寄付、クラブ寄付の3種類)。また、皆様のご理解をより深めて頂く為、様々な米山の事業活動に積極的にご参加頂けるようお願い致します



す。そしてセミナーでは更に米山学友・現役奨学生によるパネルディスカッションがありました。ディスカッションのテーマは「ぶっちゃけ!!米山記念奨学生」。パネラーの米山学友の徐 海波(ジョ カイハ)様、鄭 企娟(ジョン キヨン)様、金 正録(キム ジョンロク)様方と、現役奨学生のチャン テイトウ チャン様、張 鵬(チョウ ホウ)様らでクラブでの思い出、よかった事、つらかった事、様々な体験談を語り合っていました。今後のサポート活動の参考となるような有意義なディスカッションとなっていました。以上、簡単ではございますが、米山記念奨学部門セミナーのご報告とさせていただきます。



ロータリー財団委員会 大島 直幸 委員長

7月28日に行われた財団部門セミナーの報告を致します。中川ガバナー挨拶より、サンディエゴでの2018年度国際協議会本会議にてロン・D・バートンロータリー財団管理委員長はロータリー財団の4つの優先事項を発表したそうです。第1「ポリオ撲滅」第2「6つの重点分野における奉仕活動の持続可能性を高める」第3「毎年DDFを全額使用して、世界でよいことをするよう全地区に奨励する」第4「2025年までに恒久基金を20億2,500万ドルにする」これらの目標を実現していくため、当地区では今年度は総額5万ドルの地区補助金大口枠を設け、6つの重点分野を中心とした持続可能な奉仕活動を積極的に探していくそうです。ポリオ撲滅チャリティーコンサートが11月29日(木)彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホールで行われます。チケットは3,000円です。興味のある方は参加をお願いします。

😊 スマイル報告 😊

・ジュニア甲子園野球大会、皆様のご協力で無事に終了することができました。ありがとうございます。来年から20回大会目指してよろしくお祈りします。

吉澤 晴雄

・皆様、ジュニア甲子園ご協力ありがとうございました。お疲れ様でした。

中澤 伸浩 ・ 高橋 忠克

・母の葬儀にはお手伝い、多くの方にご会葬をいただきありがとうございました。お礼申し上げます。今後ともよろしくお祈り致します。

小林 操

・父の葬儀の際は、誠にありがとうございました。

佐藤 要

・欠席が続きました。誕生祝いありがとうございます。

太田 靖彦

・明日で73才。これからも良い思い出づくり!

岡崎 勲

・太田さんおかえりなさい。台風と共にやって来ましたね。お誕生日祝いありがとうございます。須賀 篤史

・残暑お見舞い申し上げます。

堀野 眞孝

・世界平和の為に。

小林 光則

・本日も宜しくお祈りします。

松井 昭夫 ・ 高 瑠美子

・本日早退致します。

山本 正乃

・本日遅刻、すみません。

大熊 正行

・第10回越谷ジュニア甲子園大会ご協力いただき誠にありがとうございました。感謝申し上げます。次は越谷市民まつりが10/28に御座います。引き続きよろしくお祈り申し上げます。

新沼 徹

出席報告

会員数	49名
出席免除者	14名
出席者	33名
欠席者	16名
出席率	73.3%